

東京大学 宗教学年報

XXXVIII

論文

ユダヤ教世界のイエス伝	志田 雅宏	1
咸錫憲の『意志から見た韓国の歴史』	古田 富建	25
あまんきみこ作品における物語の「真実」	大澤 千恵子	41
「俗」の語義の展開	馬場 真理子	50
文部省による「宗教学校」の監督への転換	高瀬 航平	69
世俗化論の形成過程の再検討	田中 浩喜	84
表現アートセラピーのスピリチュアリティ	稲村 めぐみ	99
近世イギリスにおけるイスラーム観と他教派観	河底 佑佳	115

研究動向

漢魏晋中国における死生観の研究	李 木子	130
エチオピア宗教研究の動向と展望	加藤 基	142
ラテンアメリカ宗教研究動向	鈴木 亮	154
ニューカマーによるエスニックチャーチの 形成と活動に関する研究の動向	坪井 俊樹	165
現代の禪のグローバル化に関する研究動向	輝元 泰文	172
北欧宗教学における物語研究の新展開	和田 理恵	183

書評

ジャン・ボベロ／ラファエル・リオジエ（著），伊達聖伸／田中浩喜（訳） 『＜聖なる＞医療 フランスにおける病院のライシテ』	古澤 有峰	192
---	-------	-----

翻訳

ヤーコブ・ベーメ『鍵』本論第9章	徳田 安津樹	207
------------------------	--------	-----

2020年

東京大学宗教学研究室